

## 採択理由

プログラム名：先端融合領域イノベーション創出拠点の形成

課題名： 原子・分子機能の多次元包括デザイン拠点

代表者名： 小宮山 淳

所属機関名： 信州大学

### コメント

本提案は、微細加工技術と機能性材料の設計技術の融合領域として、概ね 10 年～15 年後にイノベーションを起こし、革新的な技術開発並びに新産業の創出などが期待されるものと評価された。しかしながら、委員からは、以下のようなコメントが寄せられている。

- ・イノベーションを生み出す技術やプロセスが明確ではない。どのような基礎研究を融合させようとしているのか不明である。
- ・伝統的な繊維産業にとどまらず、繊維技術や繊維に関わる研究をベースとした広範なイノベーションの創出を図ることができるよう、可能性のある多様な企業とも協働を行っていくことが重要であろう。
- ・多次元包括デザインの意味が不明瞭。先端融合の主旨との不一致の感が否めない。

上述の観点も含め、1 年目はミッションステートメントの実現可能性についてさらに調査・検討することとし、その結果を踏まえ、拠点化構想等（企業との協同体制を含む）の改善を行うこと。